

2023年3月発行

浦添市地域学校協働活動

ボランティアだより 第15号

浦添市教育委員会 社会教育推進課 社会教育協働係



今年度最後の「ボランティアだより」です。感染防止対策を行いながらの各学校での取り組みをご紹介します。

港川小学校 6年生 『職業人講話 ～夢にむかって～』

港川小学校6年生の皆さんは総合学習・職業人講話「夢にむかって」で、8人の多彩な職業の方々を講師に迎え仕事について学びました。

Youtuberの大田浩之先生、FM沖縄アナウンサーの大城勝太先生、イラストレーターのぐりもじゃサスケ先生、港川子ども園園長の長浜奈美子先生、救命医であり沖縄交響楽団ではコンサートマスターをしている林峰栄先生、聴覚バリアフリーに取り組む株式会社アイセックジャパン社長の一瀬宗也先生、美ら海水族館飼育員の前田好美先生、浦添市消防本部の田里学先生がそれぞれの仕事についてお話ししました。

生徒の皆さんは、5、6校時の時間を使って先生（職業）を2人選びお話を聞いていました。



消防士の田里先生からは救急活動や火災現場の話を聴き、実際に作業着を着用したりホース先を持ったりして消防士の仕事に夢をふくらませていました。

林先生は、大学時代にバックパッカーとして旅したアジアやアフリカの国の話や医療現場で働く人々の話、また日本DMAT隊員（災害派遣医療チーム）・国際緊急援助隊としての活動も紹介しました。

最後に子どもたちから、「今日の講話を聴いて、夢にむかって進んでいきたい。」とお礼の言葉が述べられました。



牧港小学校 4年生 『黒糖づくり』



牧港小学校 4年生は総合学習で黒糖作りを体験しました。黒糖づくりを教えるのは、琉球黒糖製法研究会の渡名喜庸功さん、銘苅敬人さん、前堂栄さんの三名です。

手動でサトウキビを絞る班（昔はサーターヤーという所で牛が汁を絞っていたと渡名喜さんから説明がありました）、機械で絞る班、絞った汁を煮詰める班に分かれて体験しました。



汁を200度ほどの温度で煮詰めていくと、だんだん色が変わり黒糖のいい匂いがしました。火からおろすと生徒たちが交代でかき混ぜていきます。そうすることで糖がくっついて固まっていくと銘苅さんが教えてくれました。

出来上がった黒糖を試食した子どもたちは「あまい！」「おいしい！」と喜んでいました。



琉球黒糖製法研究会の3名の皆さんは浦添市内の小・中学校、保育所、児童センターでも黒糖作りの体験学習に取り組んでいます。



前田小学校 6年生 『職業講話』



2月27日、前田小学校6年生は全日空キャビンアテンダントの住吉真実さん、野村景子さんお二人から「飛行機で働く人について」授業を受けました。

最初に、住吉さん・野村さんから自己紹介がありました。

住吉さんは幼少のころ、アメリカのシカゴに住んでいて、冬になるとスケートをして遊んだことや、沢山の人と出会いお話をするのが好きで、キャビンアテンダントになりたいと思ったことをお話してくださいました。

野村さんは沖縄県出身で、県外の大学で学びキャビンアテンダントの仕事を目指した事をお話していました。

そのあと、航空会社で働く方たちを映像で紹介しました。飛行機が大勢のお客さんに乗せて出発するまでには飛行機の整備・客室の清掃・食事や飲み物の準備など様々なお仕事があることがわかりました。また、キャビンアテンダントは、毎回一緒に仕事をするメンバーが変わるので自己紹介を行い日程確認するなど出発前にたくさんの業務があることや、飛行機の中で起こる様々なことに対応するために採用後1ヶ月あまり色々な訓練を受け、その後も1年に1回訓練を受ける事などを説明していました。



子どもたちからの質問タイムでは、「何を勉強したらキャビンアテンダントになれますか?」「英語は話せた方がいいですか?」「何時間くらい飛行機に乗っていますか?」「飛行機の中で大変だったことは何ですか?」などの質問があり、住吉さんと野村さんは、どの質問にも丁寧に答えていました。

※全日空キャビンアテンダントの住吉さんと野村さんは、令和3年1月から令和5年3月まで浦添市に出向し、観光振興課と文化スポーツ振興課でそれぞれ活躍しました。港川小学校で2回、前田小学校で1回キャリアとマナーについて授業していただきました。

お問い合わせ

浦添市教育委員会 社会教育推進課 社会教育協働係 担当:富山、川畑
電話 098-876-1305(直通) メール soedu@city.urasoe.lg.jp

